

竜王東小学校 学校関係者評価書

令和6年2月19日（月）

竜王東小学校 学校関係者評価委員会作成

第1回 学校関係者評価委員会

実施日：令和6年2月19日（月）午後1時30分～3時

会場：竜王東小学校 音楽室

参加者：学校関係者評価委員

学校評議員：山本 由美子，清水 勉，三井 弘文，加藤 富美子，石田 冬子

保護者代表：川口 恵美（PTA会長）

学校側

校長：丹沢 貴浩，教頭：内藤 成子，教務主任：風間 里子

I 学校側から提案された内容

- ・学校の概要，学校の教育活動について
- ・学校評価の説明及び過年度との比較及び考察

II 協議された主な内容

①学校評価の結果について

- ・教師用・児童用・保護者用アンケート結果と考察
- ・地域や家庭での児童の生活実態について
- ・今後の課題について

②学校教育に関する事項について

- ・指導内容の増大と学校における「働き方改革」の取り組みについて
- ・基礎・基本の定着と学習の充実について
- ・感染症の影響による地域との連携の課題について

< 学校関係者評価書 >

I 全体評価

- ・教職員の自己評価の結果は，ほとんどの項目で肯定的評価（AまたはB判定）の割合が90%を超えており，評価の平均値も大部分の項目で8.5ポイントを超えている。学校経営方針に基づき，学校教育目標の具現化に向けて，教職員の十分な理解のもとに教育活動が行われていると考えられる。
- ・児童アンケート，保護者アンケートの結果についても，ほとんどの項目で評価の平均値が8.0ポイントを超え，学校の教育活動が適正に行われた結果，児童が学校生活を楽しい・充実していると考えており，保護者からも一定の理解を得られていると考えられる。

- ・職員全体が、学校評価での課題をしっかりと受け止め、改善に向けて取り組んだため、自己評価の点でも改善が見られ成果が出ていることが分かる。

II 特徴

- ・教職員の自己評価、児童アンケート、保護者アンケートの結果はいずれも甲斐市全体の調査結果とほぼ同様の結果となっている。他の学校と比較しても竜王東小学校では適正な教育活動が行われており、児童や保護者からも一定の評価を得ていると考えられる。
- ・学習に関する児童アンケートでは「先生はよく勉強を教えてくれる」の評価は「よく教えてくれる」と「教えてくれる」の評価は良好で、ここ数年大きな変化はない一方で、「算数の授業の内容がわかりますか」の項目についての評価が伸びてこない。伝え合う、話し合うためには、まず自分の考えをもたなければならない。今年度は校内研究において、ICTを活用した協働的な学習場を設定する授業づくりを行ってきた。考えをまとめ、他と共有するツールとして一人一台端末の有効な活用法を教師が学び、授業に活かしてきた。今後も、教師自身が指導の改善に向けた研修・研究に力を入れていく必要があると感じている。
- ・学校の特色であるノーチャイム制、オープンスペースなど充実した施設・設備を活かした活動に力を入れていることが良い。特に、ノーチャイム制は児童の自主性が育ち、考えて行動する力がつきとてもよいことだと思う。学校教育目標にも「よく考え、進んで学ぶ子ども」とあるように、主体性に富んだ児童の育成に努めてほしい。これからも特色のある活動の継続を望む。

III 今後の課題として意識されたいこと

○学校教育目標の達成状況について

- ・今年度も校長のリーダーシップのもと、教職員が一丸となって多岐にわたり細かな計画のもと丁寧に教育活動を行っている様子が見られた。また、一人ひとりが共通理解と情報共有をしっかりと行い、そのなかでお互いをカバーし合う協働する意識が高いことを感じた。
- ・学習指導内容が大幅に増大する中、また教育現場がさまざまな課題を抱えている中、教職員が日々頑張っていることがわかった。そのような状況にあって「働き方改革」については、今後も必要なことだと感じた。進めてほしい。

○基礎・基本の定着と学習の充実について

- ・子どもたち一人ひとりがしっかりと学習内容を理解するために、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら、基礎基本の定着について取り組んでほしいと思った。

○地域と今後の連携について

昨年度まではコロナ禍のため、学校行事に地域住民の参加がなかなかできなかったが、また少しずつ地域に開かれていくとよいと思う。地域の住民が学校を訪れ、学校の様子を見たり、学校ボランティアとして教育活動に参加したりすることが今後多くなっていくとよい。

子どもの数がだんだん減ってきており、学校の様子が日常的に情報として入ってくるのが少なくなった。学校から、地域から、情報を双方から提供することで、子どもたちをお互いの目で見守っていけるとよい。今後は、多くの機会に、地域の方々が学校の教育活動へ参加出来るような体制を整えていく必要があると感じる。来年度は、学校の状況も考える中で、お互いに負担と感しない取組を行っていく必要があると思う。児童の健全な成長に向けて学校と保護者、地域とが一体となり、「チーム竜王東小」として、相互の連携のよりよい方向性を模索しながら行い、地域との連携を実行していく必要がある。

※特記事項 なし

記載責任者（竜王東小学校 学校関係者評価委員）

PTA会長 川口 恵美 印